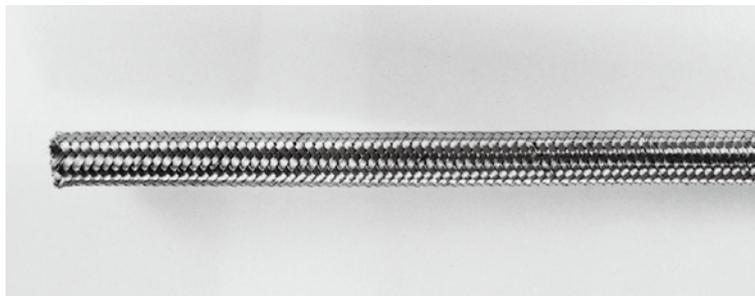


EARL'S HOSE

●アールズ オートフレックスホース



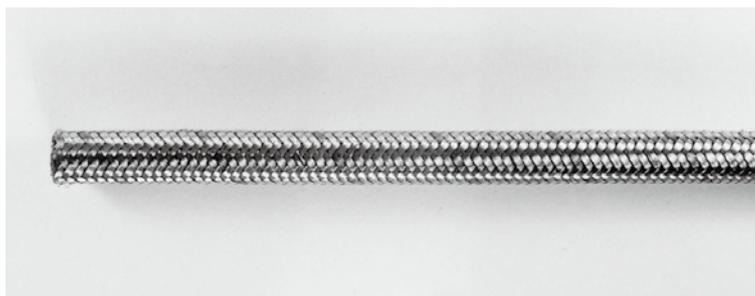
ハイパフォーマンスとローコストを両立させた、シングルブレードステンレスメッシュ（一重）構造のホースです。ガソリンはもちろんすべての潤滑油・炭化水素・アルコール燃料にも問題有りません。

- 内部材質 ニトリル合成ゴム
- 常用許容温度範囲 - 40℃～148℃

品番	サイズ	内径 (mm)	外径 (mm)	最大圧力 (kg/cm ²)	最小曲げ半径 (mm)	主な仕様個所(参考)	価格 (1m)
300004	4	5.6	11.1	105	51	ウェストゲート・バキュームライン	¥4,200
300005	5★	6.4	12.7	—	51	フューエルライン	¥4,400
300006	6	8.7	13.9	105	64	フューエル・A/Tオイルライン	¥4,400
300007	7★	9.5	15.9	—	76	フューエルライン	¥5,700
300008	8	11.1	16.3	105	89	フューエル・エンジンオイルライン	¥5,700
300009	9★	12.7	18.3	—	89	ヒーターホースライン	¥6,500
300010	10	14.3	20.2	88	102	エンジンオイルライン	¥6,500
300011	11★	15.9	22.2	—	102	ヒーターホースライン	¥7,600
300012	12	17.5	23.8	70	114	ドライサンプ・REエンジンオイルライン	¥7,600
300014	14★	19.1	26.2	—	127	ヒーターホース・ブローバイホースライン	¥9,000
300016	16	22.2	29.4	53	140	ドライサンプライン	¥10,200

★印にはホースエンド スイベル・シール(P75・P167)の設定は有りません。
締め付けはエコノフィッティングのみの使用となります。(P82・P168)
※基本的には1m単位の販売ですが、端数の有る場合も有ります >>> ご相談下さい。

●アールズ パフォーマンスフレックス



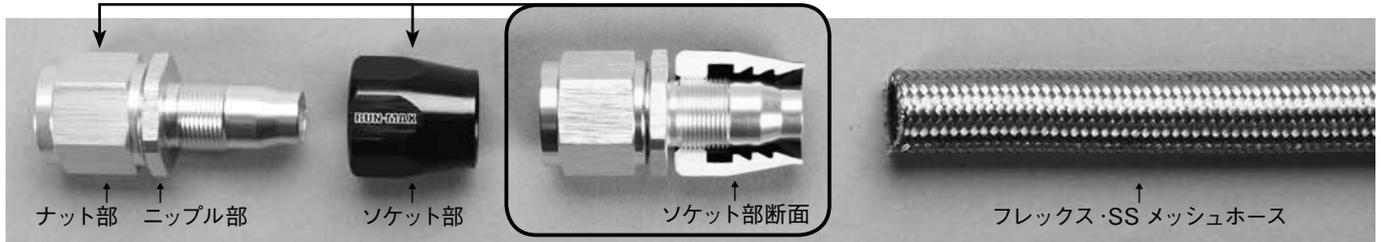
レーシングカーの必需品として、世界で愛用されています。インナーステンレスメッシュによるダブルレイヤー（二重）構造は、高価ではありますが素晴らしい性能を発揮します。ガソリンはもちろんすべての潤滑油・炭化水素・アルコール燃料にも問題有りません。

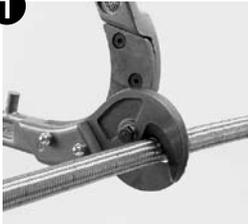
- 内部材質 ニトリル合成ゴム
- 常用許容温度範囲 - 40℃～148℃

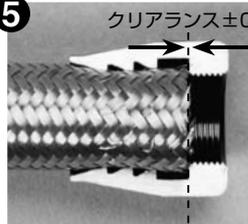
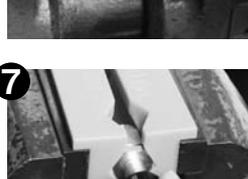
品番	サイズ	内径 (mm)	外径 (mm)	最大圧力 (kg/cm ²)	最小曲げ半径 (mm)	主な仕様個所(参考)	価格 (1m)
400040	4	5.6	11.1	105	51	ウェストゲート・バキュームライン	¥5,900
400060	6	8.7	13.9	105	64	フューエル・デフ・A/Tオイルライン	¥6,900
400080	8	11.1	16.3	105	89	フューエル・エンジンオイルライン	¥7,900
400100	10	14.3	20.2	88	102	エンジンオイルライン	¥8,900
400120	12	17.5	23.8	70	114	ドライサンプ・REエンジンオイルライン	¥9,600
400160	16	22.2	29.4	53	140	ドライサンプライン	¥12,400

締め付けはエコノフィッティングのみの使用となります。(P82・P168)
※基本的には1m単位の販売ですが、端数の有る場合も有ります >>> ご相談下さい。

〔ラン・マックス ホースエンド台オートフレックス/パフォーム0フレックスホース組み付け手順〕



- 1**  まず P343 のホースカッター(専用工具)などを使用して規定の長さにホースをカットして下さい。
- 2**  次にホースですが、ノコギリ歯(ナイロンメッシュは使用厳禁)などでカットした場合、内側のゴム部分よりメッシュ部分が突き出しているため P343 のハサミ(専用工具)などを使用して突き出した部分をカットして下さい。
※専用カッター(上記)使用時にはこの作業は不要です。
- 3**  次にホースエンドのソケット部分をバイスではさんで下さい。その際、ソケット部分にキズ防止の為 P342 のバイスジョー(専用工具)をセットする事をおすすめします。
- 4**  次に①②で作業したホースをバイスではさんだソケットの部分に入れる。その際メッシュ部分がささくれている場合、指先などで修正して入れ込んで下さい。(かなり強い力が必要です)

 又は、上記の力の要る作業が難しくてしづらい場合、P342 の AN アッセンブリーツール(専用工具)を用いるとホースのメッシュ部分が多少ささくれていてもソケット部分に“ラクラク”セット出来ます。その際オイルの配布を忘れずに。
- 5**  クリアランス±0 次にホースの先端部がソケット内部のネジ終り部分まで来るように差し込みます。その状態でのクリアランスは±0です。
- 6**  次にナット部分をバイスではさんで P186 のアッセンブリールーブ(専用潤滑剤)などを塗布します。
(この作業は必ず行って下さい。)
- 7**  次にソケット部にホースをセットした物とナット部分との組み付けですが先にネジ部分が噛合うまで手で操作を行ない、そのままネジが固くなるまで手で締め込んで下さい。
- 8**  次に締め付けですが、このホースエンドの構造上ホースが少し手前にずれてくる場合が有ります。その場合ホースを少し押しながらある程度までレンチで締め込んで下さい。
- 9**  次にソケット部の本締めですが、キズ・スベリ防止の為アルミレンチ、又はアルミ製モンキーレンチ(専用工具)P340 の使用をおすすめします。専用レンチ品番は P342 表を参照して下さい。
- 10**  最後にナット部分とソケット部分のクリアランスは、2~3mm(サイズにより誤差有り)が適正です。ノギスなどでチェックして下さい。